

# チ ャ ッ ク リ ス ト

## 様式 2

### I 基本的なことがら

| チ ャ ッ ク 項 目                            | 工 夫 し た こ と が ら                                           |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| I—1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境                  | I—1 計画地内部の緑化だけではなく、隣地や道路付近の法面も可能な限り緑化を行い、良好な住環境の維持に努めます。  |
| I—2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり | I—2 高齢者向けの共同住宅を計画していますが、入居者が心豊かに生活できるように良質な住空間を目指します。     |
| I—3 ユニバーサルデザイン等の導入                     | I—3 入居者が利用する動線はバリアフリーで計画しています。                            |
| I—4 安心・安全の生活の確保                        | I—4 オートロックや防災倉庫の設置など、防犯・防災に留意した計画を行います。                   |
| I—5 都市の熱環境への負荷の低減                      | I—5 計画地内の一部で行う屋上緑化による雨水の浸透化の他、省エネに配慮した機器の選定を行います。         |
| I—6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり        | I—6 建物高さ、道路と並行の建物配置は周辺建物と同様のものであり、周辺建物と調和したボリュームで計画しています。 |
| I—7 魅力ある場所をつくるデザイン                     | I—7 近隣公園の緑に映えるオフホワイト系の色合いとしつつ、落ち着きと品のある外観デザインとしています。      |
| I—8 美しく開放された空間づくり                      | I—8 交差点と建物の距離をとることで、道路から建物を見た際の圧迫感の軽減に努めます。               |
| I—9 地区計画や建築協定などの積極的活用                  | I—9 自治会・近隣住民の方々と協議を行いつつ、良好な住環境を計画しています。                   |

## チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 3

## Ⅱ 技術的なことがら (計画の作り方と数値目標)

| チ ャ ッ ク 項 目                             | 工 夫 し た こ と が ら                                                                   |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅱー1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮 | 擁壁H= 1～5 m・L= 240 m<br>法面H= 0～3.5 m・L= 616 m <sup>2</sup><br>可能な限り擁壁を低くして法面を設けます。 |
| Ⅱー2 高さ、容積率、建ぺい率について                     | 最高高さ 30.59 m・容積率 199.50 %<br>建ぺい率 34.72 %<br>隣棟との間隔 — m                           |
| Ⅱー3 近隣の建物の配置状況への配慮                      | 計画地は低層住宅地と隣接していませんが、後退距離の確保を近隣への配慮としています。                                         |
| Ⅱー4 周辺から見た都市景観への配慮                      | 周辺へ圧迫感を与えないよう後退距離を確保しつつ、隣地際に中高木を植樹する計画です。                                         |
| Ⅱー5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線               | 庭園や歩行者動線を確保しつつ、道路から連続性のある空間になるよう効果的な植栽を計画します。                                     |
| Ⅱー6 建物の外壁面の後退の指標                        | 外壁面後退<br>道路から 5 m・隣地から 5 m                                                        |
| Ⅱー7 有効空地の指標                             | 歩道設置 (無)<br>敷地内空地 58.9 %                                                          |
| Ⅱー8 敷地面積の規模の指標等                         | 該当なし                                                                              |
| Ⅱー9 防犯性の高い良質な住宅ストック                     | オートロックや防犯カメラを設置することで防犯に配慮した計画としています。                                              |
| Ⅱー10 景観デザイン                             | 近隣公園との協調を意識した色合い・デザインとすることで、周辺の緑豊かで落ち着いた街並みとの調和を計画します。                            |
| Ⅱー11 まちの庭園化                             | 路面より位置にある法面に植栽を設けることで道路からみた際に、通常よりも強くみどりの印象を与えられるよう計画します。                         |
| Ⅱー12 工作物などの作り方                          | フェンスH= 2.1 m・L= 125 m<br>塀 H= — m・L= — m                                          |

\*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください